

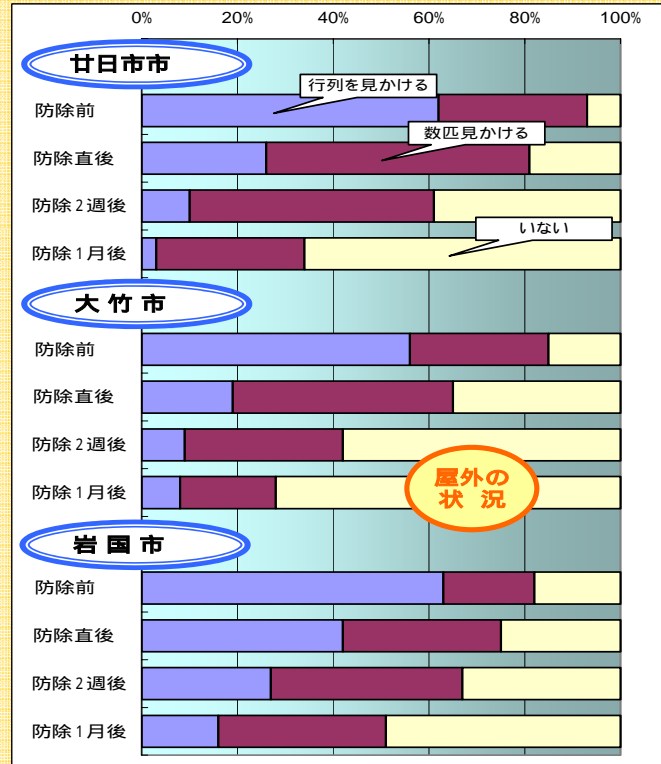
協議会の取組(平成21年秋)

平成21年秋は、岩国市、廿日市市及び大竹市の一定地区で、住民ボランティア参加による、「地域ぐるみの防除活動」に取り組みました。

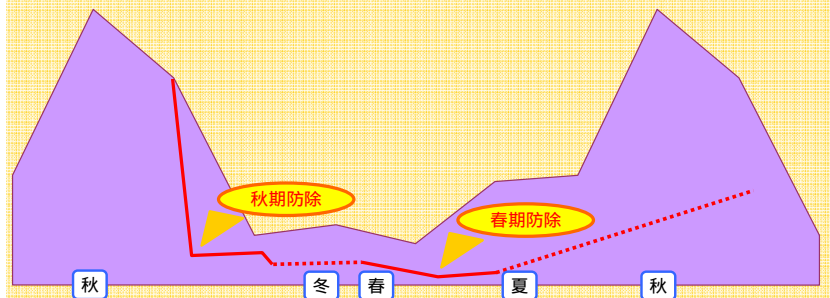


	岩国市	廿日市市	大竹市
実施場所	下の浜、黒磯崎、黒磯、萩原、上市北(玖珂)、一本杉自治会	廿日市市桜尾三丁目(一区・二区)地区	西栄三丁目地区 南栄二丁目地区 東栄一丁目地区の一部
対象戸数	約740戸	約150戸	約290戸
面積	64.8ha	6ha	38ha
延参加者数	約2,000名	約1,000名	約1,450名
実施月日	玖珂上市北 : 10月12日~14日 下の浜 : 10月13日~15日 黒磯崎 : 10月19日~21日 黒磯 : 10月20日~22日 萩原 : 10月21日~23日 一本杉 : 11月26日~28日	10月5日~13日	10月1日~5日

岩国市下の浜地区と黒磯崎地区以外は、初めての実施場所になります。また、防除の結果については、これまでの取組と同様に住民アンケートを実施しています。



年2回(秋/春)の防除効果がどの程度継続するか、専門業者による調査も実施しています。下のグラフは、防除を実施した廿日市市(扇園地区)と、防除を実施していない地区のアルゼンチンアリの数を比較したもので、年2回の防除により、アリの数をもっとも増加する秋において、通常の半分程度に抑えられていることがわかります。



アルゼンチンアリの被害を防ぐために、パンフレットを作成し、取組の紹介をしています。(平成21年度作成のパンフレット)

協議会では、国の支援事業最終年度となる平成22年度にも「地域ぐるみの防除活動」に取り組むとともに、3年間の防除成果を取りまめ、自治会むけ防除マニュアルを作成することとしています。